

中野区次世代育成支援行動計画（後期計画）
における平成 24 年度事業実績（案）について

1. 趣旨

「中野区次世代育成支援行動計画（平成 22 年 3 月後期計画策定。以下、「計画」という。）」に基づき、「子どもたちがのびのびと成長し、楽しく子育てができるまち」の実現に向けて平成 24 年度中に実施した施策・事業の内容、及び計画に掲げた個別目標の達成状況について地域住民が検証できるよう「中野区次世代育成支援行動計画平成 24 年度事業実績（案）」を作成したので公表する。

※この計画に基づく施策の実施状況については、次世代育成支援対策推進法第 8 条第 6 項において、市区町村は毎年、公表に努めなければならないと規定されている。

2. 内容

計画の体系（4 つの体系と 14 の取組み内容）に基づき、個別目標の達成状況をはかる成果指標と実施した主な事業の例を掲げた。また、平成 25 年度以降への改善点・変更内容を記載することにより、今後の施策の方向性を示した。

後期計画の 3 年目である平成 24 年度事業実績は、成果指標 39 項目のうち、前年度と比較して向上・改善した指標は 25 項目である。また、計画の最終年度である平成 26 年度目標を達成した指標は 7 項目である。

（1）体系 1 健やかに育つ子どもたち

前年度と比較して概ね成果指標が向上・改善するなど、子どもにとって豊かで健康的な成長・発達ができる環境整備が着実に進んでいる。

○安心して出産に臨めたと考える母親の割合は前年度の 71% から 4 ポイント向上し 75% となった。すこやか福祉センターの各種講座や個別相談や妊婦健康診査など母親が妊娠中を健やかに過ごし、安心して出産に臨むことができるよう支援を行っている。

○発達に支援を必要とする児童が、適切な相談・支援が受けられたと考える保護者の割合は、前年度の 65.8% から 1.2 ポイント向上し、67% となった。

療育相談やアポロ園事業の利用者は増加しており、需要増への対応を図るとともにすこやか福祉センターにおける支援の拡充を進めていく。

（2）体系 2 多様な援助に支えられる子育て家庭

前年度と比較して多くの成果指標が向上・改善された。また、3 項目において平成 26 年度目標を達成しているなど、子育て家庭にとって必要な援助が行われている。

○大きな戸惑いを感じることなく、子育てをしている保護者の割合は前年度の

93%から2ポイント向上し、95%となった。

子育てに関する相談やサービスの充実とともに、経済的な支援、子育てに関する十分な情報や学習の機会の提供などさまざまな施策により子どもと子育て家庭の支援に取り組んでいく。

○1年間に新たに発生した虐待の件数は、90件と前年度より11件の増となった。子ども家庭支援センターとすこやか福祉センターの連携強化、要保護児童対策地域協議会の充実などの取り組みを進めるとともに、虐待防止・早期発見のための広報活動の充実、乳幼児親子が安心して子育てできる環境整備を進めていく。

(3) 体系3 安心して頼りになる環境で過ごす子どもたち

前年度と比較して一時保育や待機児童対策の成果指標が向上・改善しており、子育て支援サービスに一定の成果が見られる。

○必要なときに子どもを預けることができた保護者の割合は前年度の72.3%から6.5ポイント上昇し78.8%となった。一時保育事業は需要も多く、今後も区立保育園の建て替え民営化に併せた専用室の整備を進めていく

○保育所の待機児童数は114人と21人減少した。一方で希望した保育サービスを利用できている保護者の割合は、前年度の83%から4ポイント減少し、79%となった。認証保育所の新規誘致、家庭的保育事業の拡大など様々な対策を行ったが、大きな減少にはいたらなかった。今後とも多様な保育サービスにより、保育需要への対応を進めていく。

(4) 体系4 子育て・子育てにやさしいまち

前年度と比較して多くの成果指標が向上・改善するなど、子どもや子育て家庭が安心して過ごせるまちづくりが進んでいる。

○犯罪発生件数は、前年度の4,550件から478件減少し、4,072件となった。地域における防犯活動の取組み支援やキャンペーン等による周知を図るなど、引き続き区全体で犯罪を未然に防止するための環境づくりを推進していく。

3. 公表の方法

子ども総合相談窓口や各すこやか福祉センター等関係窓口での閲覧及び中野区ホームページへの掲載を行う。

4. 今後の予定

2013年10月30日 子ども・子育て会議報告

11月28日 子ども文教委員会報告

12月 3日 地域支えあい特別委員会報告

12月中旬 実績公表

実績を公表した旨を区報に掲載